

## メキシコにおける日本語学習者の特性

ービリーフ調査結果を中心にー

高崎三千代

〔キーワード〕 BALLI、スペイン語、コースデザイン、会話、自律学習

### 〔要 旨〕

本研究は、メキシコの初級日本語学習者が上達させたいと考える言語能力・技能と、彼らの言語観・言語学習観（以下、ビリーフ）について、その特徴を考察したものである。上達させたい言語能力では、会話が最も高いことは想定範囲内だったが、その強さの程度や会話以外の言語・技能への希望は地域や学校種別によって異なった。

ビリーフ調査で見いだされた特徴は、教室内外を問わず日本語での会話や交流を楽しみにしていること、聴解や話す活動は好むが、語彙や読解等の文字を行動対象とする学習指向は低いこと等である。加えて、言語学習について楽観的で教師の直接指導に対して期待が高いことも窺えた。

近年メキシコで需要が高まっている通訳、翻訳、日本語教師など日本語での就業可能な能力に達するには効果的・効率的なコースへの改定が必要だが、教師が学習者の希望を把握し特性を生かす教授活動を行うことが並んで重要であると考えられる。

### 1. はじめに

国際交流基金（2011）によると、メキシコでの日本語学習者数は7411人とスペイン語圏で最も多く、2位以下のスペイン4045人、アルゼンチン3539人、ペルー3067人に水をあけている。初中等教育に日本語が大規模に導入されていない諸地域間で見ても、東欧で学習者数1位のポーランドが2865人、中東1位のトルコが1189人、アフリカ1位エジプトが1036人と、メキシコの学習者は軽視できない数値にあると言ってよいだろう。

メキシコにおける外国語としての日本語教育は、オリンピック開催（1968年）の際の日本語通訳養成に端を発した。1972年から国際交流基金（以下、基金）が、さらに1989年から国際協力機構（以下、JICA）が主要教育機関へ日本語専門家やボランティアの派遣を開始した後、2000年代に入って基金、JICAと相次いで派遣をいったん終了した<sup>(1)</sup>。その後は全国組織になった（社）メキシコ日本語教師会（以下、教師会）が中心となって弁論大会や勉強会などを開催し、基金やJICAの活動は側面的支援に移行していった。

その間にも学習者数は一時の増減を経ながら上に挙げたような伸びを示し、日本語教師育成の必要性が指摘されるようになった。加えて、2005年の日墨経済連携協定（EPA）発効を機に日系自動車企業関連の進出が相次ぎ、通訳や翻訳の需要が新たに高まってきた<sup>(2)</sup>。

その一方で、メキシコには中級レベル以上のクラスを設置する教育機関が少なく、現地教師を養成したり企業からの要請に応えたりということは容易でない現状にある。海外における日本語教育が安定するためには、学習者がその能力を社会に還元するに至るまでの循環サイクルを形成することがモデルとして考えられるが、メキシコでは初級学習者が増大した次の方策を講じることが急務となっている。このような背景の中、基金日本文化センターへの専門家派遣が2009年に再開された。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、メキシコにおける日本語学習者の日本語・日本語学習についての考えを調査し、その特性を明らかにすることである。それを基に、日本語学習者が教室を出て実際使用できるレベルまでのコース編成やカリキュラムの改定が段階的に可能になると考えられる。

メキシコに派遣される日本語専門家にとっては、限られた任期の中で先ず学習者の特性を俯瞰できることは、当地に適合した業務に迅速に着手するための一助になると考える。

## 3. 先行研究

### 3.1 BALLI

「言語学習はどのようなものであるか」、「どのようになされるのか」などについて学習者が普通のものとして持っている思いや価値観は“Belief (s)”と呼ばれ、日本語では「ビリーフ」「信念」「確信」などと訳されている。Horwitz (1987) は、ビリーフを網羅的に把握するために「言語学習の適性」「言語学習の難易度」「言語学習の本質」「学習とコミュニケーションストラテジー」「動機」の5領域・34問の質問項目から成る BALLI “Beliefs About Language Learning Inventory”を作成した。BALLI 調査の方法は、たとえば「子どもは大人よりも外国語を習いやすい」という短文について、回答者が「1. 強く同意する」「2. 同意する」「3. 同意も反対もしない」「4. 反対する」「5. 強く反対する」の5段階の中から自分の考えに近い段階を選ぶものである。Horwitz は英語学習者と教師のビリーフ調査を実施し、学習者のビリーフがさまざまであること、ビリーフが学習ストラテジーに影響していることなどを明らかにした。この後、他の多くの研究者が各々目的に合わせた質問項目で BALLI 応用版を作成し調査を行っている。

日本語教育の分野では、若井・岩澤 (2004) はハンガリーで調査を行い、同国の大学卒業試験制度での高い言語能力が重視され、中でも語彙力重視が日本語学習のビリーフにも影響を与

えていると指摘した。言語使用において「正しさ」のみが最重視されるべきではないとは感じているようである。しかし、実際には細かい間違いを気にせず積極的に外国語を話す積極性は低いとしている。

メキシコと歴史的に類似点の多いフィリピンでは、多言語政策化の英語学習で身に着けたと思われるビリーフが、日本語にはよく作用しないで初級段階で挫折する例が多いことが指摘されている（高崎 2006）。

スペインの大学での日本語学習者について阿部（2009）は、全体的な傾向として学習に対して楽観的で教師依存があるので、教師には様々な授業内容や教室活動の提供が求められているとした。

### 3.2 メキシコ人学習者についての調査

メキシコ人の学習スタイルについて、江原（1998）は Style Analysis Survey という質問紙調査を行い、「メキシコ人学習者は外交型、操作型の感覚・認知の特性を持ち、相互作用のある学習や作業から何かを学んだりするのを好む」傾向が強いという結果を導いた。また「メキシコ人学習者は聴覚型が強いため、視覚要素の強い授業では苦痛を感じたり、退屈してしまう可能性もあろう」と予測している。

府川・佐藤（2002）は中学1年生から高校3年生（日本の学齢と同一）333名にビリーフ調査を行い、生徒の意識として「上達に最も効果があるのは日本へ行くこと、次いで語彙、文法の学習。よい発音が重要」と挙げたという。また、「自分は外国語学習の適性があり」、「3～5年で日本語が上手に話せるようになる」という回答が多かったと報告している。

## 4. 研究方法

過去にメキシコでも日本語学習者の学習スタイルやビリーフの調査が行われ、その特徴の一端を窺うことができた。ただし、いずれも一機関の学習者を調査の対象としており、調査時から時間も経ている。メキシコ全地域を対象に、ある程度の人数で調査を行うことでメキシコ全体あるいは属性別の特徴を見出すことが可能であると思われた。

本研究は、メキシコの過去の調査を参考とし、他国のビリーフ調査結果とも比較・検討しやすくするために、BALLI（Horwitz 1987）を原本として採用した。質問は、阿部（2009）と高崎（2006）を参考に一部改編し、全51問とした（本稿末）。また、BALLIとは別に、上達させたい言語能力・技能を「読む」、「書く」など以下の6項目に分けて尋ねた。

調査の協力を依頼したのは表1に示した9機関の初級日本語クラス所属の学習者243名で、メキシコの地方別・教育機関種別日本語学習者数とその分布をおおよそ反映させている<sup>(3)</sup>。調査協力者像は表2に示した。調査実施時期は2011年2月から3月である。

【表1】 調査実施機関名と協力者数内訳 (単位:人)

機関所在地	機関名				首都圏 合計	地方 合計	総計
	語学学校	人数	大学	人数			
首都圏	社団法人日墨文化学院	67	メキシコ国立自治大学 外国語教育センター	31			
			国立工科大学 サント・トーマス校	34			
	首都圏語学学校	67	首都圏大学	65	132		
地方	中部	社団法人グアダラハラ 日墨文化交流学院	20	グアナファト大学	22	42	
	東部	ヘスタル・ インスティテュート	17	ベラクルス大学ハラパ校/ クリストバル・コロソ大学*	32	49	
	北西部		パハ・カリフォルニア大学 メヒカリ校	20		20	
		地方語学学校	37	地方大学	74	111	
		語学学校 (合計)	104	大学 (合計)	139		243

※内訳は、ベラクルス大学ハラパ校26名、クリストバル・コロソ大学6名

【表2】 調査協力者のデータ

総数	243名	平均年齢	23歳
男女比	男51%、女49%	平均学習期間	2年1ヶ月
学習段階	『みんなの日本語』5課～50課まで、または初級教科書の同程度を学習中		

## 5. 結果

### 5.1 上達させたい技能・能力

会話、聴解、発音、文字・作文、読解、語彙のうち、最も上達させたいと回答したものを地方別、学習機関種別にグラフ化したのが図1～図である。

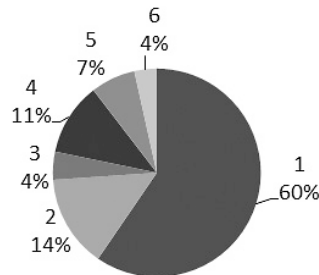
日本語のどの能力を上達させたいですか。上達させたい順に番号をつけてください。

1 会話      2 聴解      3 発音      4 文字・作文      5 読解      6 語彙

#### 5.1.1 全体の傾向

首都圏・地方ともに、最も上達させたい能力は『会話』で、最も低いのは『語彙』である。

【図1】最も上達させたい能力（全体）

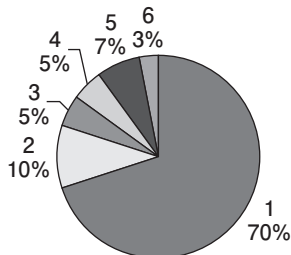


#### 5.1.2 学習機関種別および地方別

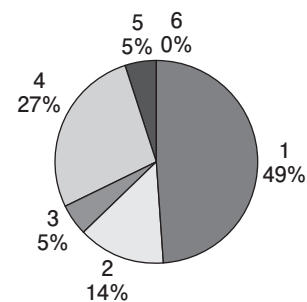
「上達させたい能力」の学習機関別結果を図2～図7に示す。地方と首都圏の語学学校は、その順位と比率はあまり違いが見られない（図6、7）。大学では、会話が最も高い点はこの地域も共通だが、その程度や2位以降に異なりが見られる。地域特性や試験、教師の価値観、また教師の教授言語が母語か日本語か等が影響している可能性が考えられるが、地域ごとの調査母数が少なく他の資料がないため、現時点で要因の特定は難しい。

1 会話	2 聴解	3 発音	4 文字・作文	5 読解	6 語彙
------	------	------	---------	------	------

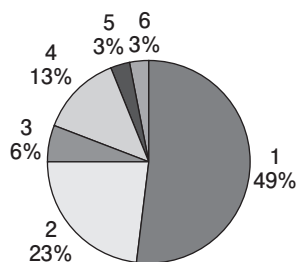
【図2】最も上達させたい能力（大学／首都圏）



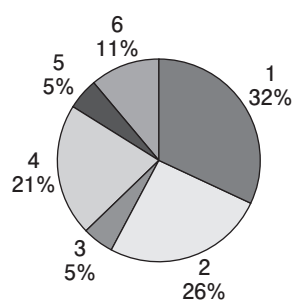
【図3】最も上達させたい能力（大学／中部）



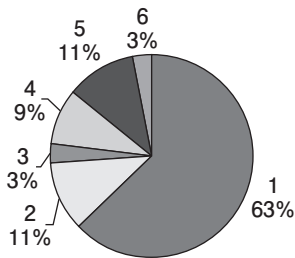
【図4】最も上達させたい能力（大学／東部）



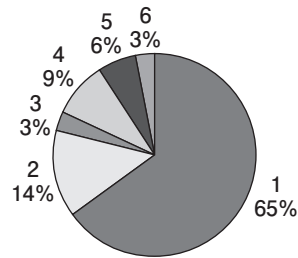
【図5】最も上達させたい能力（大学／北西部）



【図6】最も上達させたい能力(語学学校／首都圏)



【図7】最も上達させたい能力(語学学校／地方)



## 5.2 BALLI 結果

質問項目は、「言語学習の適性」「言語学習の本質」「言語学習とコミュニケーションストラテジー、教室活動」「学習動機」「教師の役割と学習者の自律性」の5カテゴリーに類別し、4.の先行研究同様に、言語や言語学習についての意見に対して直感的にどう思うかについて(1)強く賛成(2)賛成(3)賛成でも反対でもない(4)反対(5)強く反対の5段階の数値で回答してもらった。

調査結果は、回答の(1)～(5)の平均値とその標準偏差を集計した。平均値は理論上1から5の範囲内で1に近いほど強く賛成することを表す。結果の紹介については、同じカテゴリーの質問項目群を一まとめにし、平均値の高い項目から順に上下に並べた。(3)が「賛成でも反対でもない」を意味するので、(3)以上の項目群と(3)未満の項目群の境界線に太線「      」を付した。

標準偏差は回答の分布の散らばりを示す指標で、標準偏差が小さいほど回答が平均の近くにまとまっており、標準偏差が大きいほど回答が平均から散らばって分布していることを示す。例えば、ある問いに対してメキシコ首都圏と地方で平均値が同じ「2.5」、標準偏差がそれぞれ「0.5」と「1.0」を得た場合、標準偏差値が小さい首都圏のほうが回答のばらつきが小さく平均値周辺に集まっていることを意味する。

質問紙調査の結果を考察するにあたっては、スペイン(阿部 2009)とフィリピン(高崎 2004)のBALLI 先行研究と比較した。スペインを比較対象とした理由はメキシコの公用語がスペイン語であるためで、フィリピンを比較対象とした理由は、メキシコと歴史上の類似点が多いからである。共に300年余に渡るスペインによる占領時代の後に19世紀に米国との対立・支配を経て独立したという歴史を持ち、現在も共にカソリック国で社会・経済・教育等多方面で米国と緊密な関係にある。言語や文化の共通項を持つスペイン・フィリピンの結果と対照しながら、メキシコのBALLIの回答の背景を考察したいと考え、3者への質問で共通する項目についてのみ以下のように回答値を並列した。なお、本来であれば、これら3カ国間の違いが有意なも

のであるかどうか検定を行う必要があるが、検定に必要なデータのすべてがえられないものもあったため、本稿では検定を行わず平均値の比較にとどまっていることを断わっておく。

例：スペイン、フィリピンとの比較の示し方

項目	内容	平均	標準偏差
5	私の国の人は外国語学習が得意である。【ス:3.80/0.90】【フ:2.32/0.90】	3.06	0.89

【ス:3.80/0.90】＝【スペインの平均値 / 標準偏差】を表す。

【フ:2.32/0.42】＝【フィリピンの平均値 / 標準偏差】を表す。

### 5.2.1 言語学習の適性

3カ国のうち、スペインの学習者は外国語学習についてやや悲観的で、フィリピンは楽観的、メキシコはその中間にあることが分かる（項目41、5）。「数学や科学が得意な人は外国語学習が得意でない」について、メキシコは同意しない程度が最も高い（項目12）。メキシコでは様々な専攻や経歴の学生・社会人がそれとは別に大学付属の言語センターや語学学校で語学を学ぶ場合が多いので、このような結果になったと思われる。他に専門を持ちながら外国語も学習するには自信が必要なようで、3カ国中最も高い（項目18）。しかし日本語習得の自信については3カ国中最も低くなり、習得に時間を要すると考えているようである（項目2、45）。

【表3】『言語学習の適性』回答の平均と標準偏差

項目	内容	平均	標準偏差
41	すべての人が外国語を習得できる。【ス:2.76/1.23】【フ:1.50/0.77】	1.80	1.04
3	私は自分が日本語を習得できている。【ス:2.23/0.91】【フ:1.96/0.81】	2.29	0.86
2	ある言語は他の言語に比べて易しい。日本語は、（1）とても難しい言語、（2）難しい言語、（3）難しさは普通の言語、（4）簡単な言語（5）とても簡単な言語 【フ:2.66/0.73】	2.37	0.85
18	私は外国語学習について特別な才能を持っている。【ス:2.71/0.96】【フ:2.64/0.86】	2.59	0.96
45	もし1日に1時間ずつ日本語を勉強したら、上手に話せるまでにどれくらいかかるか。（1）1年以下、（2）1－2年、（3）3－5年、（4）5－10年、（5）1日に1時間では話せるようにならない。 【フ:2.32/0.90】	2.90	0.80
5	私の国の人は外国語学習が得意である。【ス:3.80/0.90】【フ:2.32/0.90】	3.06	0.89
12	数学や科学が得意な人は外国語学習が得意ではない。【ス:3.89/1.04】【フ:3.93/0.94】	4.31	0.91

### 5.2.2 言語学習の本質

外国語学習で文化を知ることの必要性を考える割合は、3カ国中メキシコが最も高い（項目9）。



先の「5.1」で語彙能力を高めたいという希望は最も低かったにも拘わらず、学習上は語彙が翻訳や文法よりも重要だと考えている（項目20、29、35）。また、「話すより読み書きのほうが易しい」には3カ国中で最も強く反対しており、他の2国に比べると、メキシコの学習者は読み書きを困難に考える傾向があると言える（項目42）。

【表4】『言語学習の本質』 回答の平均と標準偏差

項目	内容	平均	標準偏差
9	外国語を習得するためには、その文化を知ることが必要だ。【ス:2.00/0.93】【フ:2.14/0.91】	1.82	0.89
51	私は、趣味を楽しむように日本語を学んでいる。	1.84	1.07
6	日本語の学習は私の生活の質を豊かにする。	1.88	0.84
34	外国語学習の方法は、他の分野の学習とは異なる。【ス:1.71/0.83】	2.04	0.96
14	その国で学習するのが一番いい。【ス:1.62/0.89】【フ:2.44/1.12】	2.05	0.99
20	外国語学習の中で一番重要なのは、語彙の学習である。【ス:2.85/0.85】【フ:1.90/0.84】	2.30	0.89
29	外国語学習の中で一番重要なのは、文法の学習である。【ス:2.59/0.89】【フ:1.93/1.89】	2.48	0.90
42	外国語を話すより読んだり書いたりするほうが易しい。【ス:2.51/1.15】【フ:2.55/1.14】	2.70	1.09
30	外国語を聞いて理解するよりも話すほうが易しい。【ス:3.35/1.23】【フ:2.85/1.11】	3.13	1.12
35	外国語学習の中で一番重要なのは、自分の言語からの翻訳の学習である。【ス:3.31/0.94】【フ:2.06/0.93】	3.38	1.25

### 5.2.3 言語学習とコミュニケーションストラテジー、教室活動

「日本人との日本語練習は楽しい」と考える割合と「カセット、CDでの練習の重要性」の割合は、スペイン、フィリピンに比べて格段に高い（項目15、31）。学習者参加型の教室活動への評価も高い（項目32）。この結果は、江原（1998）が先に述べたメキシコ人学習者が好む学習スタイルと共通する。

一方、先の『5.2.2 言語学習の本質』で、「語彙が最も重要」と答えたにも拘わらず、「辞書で分からない単語を調べるべきだ」と答える割合はスペインよりも低い（項目17）。

学習の過程で自らに課す規範について3カ国の学習者の違いを強調すると、スペインでは自分が分からない単語は辞書で調べ、まだ正しく言えなくても話して、誤りがあればその場で訂正してもらって授業を指向し（項目17、10、27）、フィリピンの場合は初期の段階で必ずしも誤りを訂正しなくてもよいと見なす代わりに、正しく言えるようになるまで話すべきではないと考える度合いが相対的に高い（項目27、10）というように、学習者が自身の学習に何らかの規範を与えている。メキシコの場合は、分からない言葉を自分で調べる必要をあまり感じないで、まだ正しく言えなくても話して積極的に参加する授業を指向している（項目17、10）。つまり、自らに規範や規制を課すような学習の仕方については、他2カ国ほど高く肯定していないことが窺える。



## メキシコにおける日本語学習者の特性

【表5】『言語学習とコミュニケーションストラテジー、教室活動』回答の平均と標準偏差

項目	内容	平均	標準偏差
32	学習者が積極的に教室活動に参加するような授業は良い授業だ。【ス:1.66/0.78】	1.40	0.58
15	日本人との日本語の練習は楽しい。【ス:2.15/0.93】【フ:2.17/0.87】	1.49	0.72
21	繰り返し練習することが重要だ。【ス:1.60/0.79】【フ:1.23/0.54】	1.52	0.98
31	カセットやCDなどで練習することは重要だ。【ス:2.23/0.84】【フ:2.13/0.33】	1.57	0.72
7	きれいな発音で話すことが重要だ。【ス:2.40/0.85】【フ:1.71/0.75】	1.85	0.90
17	わからない日本語の単語はかならず辞書で調べるべきだ。【ス:1.85/0.79】	2.45	1.00
25	他の人と日本語で話すとき、不安を感じて臆病になることがある。【ス:2.42/1.22】【フ:2.98/0.95】	2.63	1.19
27	外国語学習の誤りは初期の段階で訂正しなければ、後で訂正するのは難しい。【ス:2.26/1.05】【フ:2.84/1.20】	2.86	1.23
13	学習者は教師の説明を聞き、答えを求められたときだけ答えるべきだ。【ス:3.58/1.03】	3.53	1.07
10	正しく言えるようになるまでは話すべきではない。【ス:4.16/0.92】【フ:3.44/1.16】	4.09	0.95
26	教室で学習者同士で日本語を話しても、学習の役には立たない。【ス:4.11/1.00】	4.39	0.89

### 5.2.4 学習動機

【表6】を見ると、メキシコは「日本人の友人願望（項目38）」、「就職のチャンスの期待（項目37）」でスペイン、フィリピンを上回っており、それを理由に日本語を話したいという希望も高いものと考えられる。

近年のメキシコへの日系企業進出が学習動機に影響しているかを見るため、「日本語ができればいい就職のチャンスがある。」について、地方と学校機関種別の回答を比較した結果が【表7】である。

【表6】『学習動機』 回答の平均と標準偏差

項目	内容	平均	標準偏差
49	私は日本語が上手に話せるになりたい。【フ:1.30/0.58】	1.09	0.38
38	私は日本人の友人を作りたい。【ス:1.56/0.86】【フ:1.59/0.72】	1.41	0.70
37	日本語ができれば、いい就職のチャンスがある。【ス:2.19/1.13】【フ:1.81/0.81】	1.74	0.91
50	日本語を学ぶだけでなく、いつか教えたいと思う。	2.26	1.20
48	私の国では、日本語を話せることが重要だと思われる。【フ:3.04/0.79】	3.38	1.08
23	私の国の人、日本語や日本文化を知るとは重要だと考えている。【ス:4.04/1.07】	3.47	0.99
40	外国の文化について知りたい場合、外国語を学習しなくても自分の言語で多くのことを知ることができる。【ス:3.27/1.08】	3.62	1.13

【表7】『項目37 就職のチャンスへの期待』地方別・学習機関種別の意識差

順位	地方	種別	学習機関名	平均	標準偏差
1	中部	学校	語学学校 (グアダラハラ日墨文化交流学院)	1.40	0.49
※	中+東	学校	語学学校 (グアダラハラ日墨文化交流学院+ヘスタル・インスティテュート)	1.50	0.55
2	中部	大学	大学 (グアナファト大学)	1.57	0.66
3	東部	学校	語学学校 (ヘスタル・インスティテュート)	1.63	0.60
4	首都圏	学校	語学学校 (日墨文化学院)	1.79	0.95
5	首都圏	大学	大学 (メキシコ国立自治大学)	1.81	0.88
6	首都圏	大学	大学 (国立工科大学サント・トーマス校)	1.82	0.98
7	東部	大学	大学 (ベラクルス大学、クリストバル・コロソ大学)	1.87	1.01
8	北西部	大学	大学 (バハ・カリフォルニア大学メヒカリ校)	2.50	1.09

※【表1】にある通り、地方の語学学校では1校あたりの調査数が少ないので、合計での『意識』を表に加えた。

地方別に見ると中部、東部、首都圏の順に高く、機関種別では、大学よりも語学学校のほうで意識が強い。中部では本調査の前後に日系企業の進出が本格化し、通訳や翻訳の求人が目に入るようになったが、ここにもその反応が見られる。

### 5.2.5 教師の役割と学習者の自律性

「自分の外国語学習のどの部分を改善すべきか分かっている」についてメキシコはスペインより高く肯定している (項目22)。その一方で、自分の間違いを自分でチェックすることについては3カ国中最も同意の度合いが低く (項目28)、教師の助言や指導を好むようである (項目19、36)。さらに「教師に目標を設定してもらい教師の言うとおりに勉強すれば上達が早くなる」と感じている (項目8、11、24) など、自律学習の指向は強くないことが散見される。

【表8】『教師の役割と学習者の自律性』 回答の平均と標準偏差

項目	内容	平均	標準偏差
39	教師に自分の外国語学習上の問題点や困難点を教えてほしい。 【ス:1.77/0.83】	1.54	0.93
46	教師は学習者がよく勉強するように動機付けるべきだ。 【フ:1.53/0.28】	1.55	0.72
47	教師は学習者の学習環境を整えるべきだ。そうして学習者のサポートを続けるべきだ。 【フ:1.41/0.30】	1.60	0.70
1	外国語学習に成功するにはいい教師が必要だ。 【ス:1.62/0.86】【フ:1.43/0.27】	1.60	0.80
33	教師は学習者を一生懸命学習させなければならない。 【ス:1.78/0.85】	1.63	0.78
16	学習者の評価は教師からされるべきだ。 【ス:1.92/0.88】	1.67	0.75
4	教師による定期的な試験は学習者にとって助けになる。 【ス:1.68/0.82】	1.70	0.80
19	外国語を学習するとき、教師に助言を求めるのが好きだ。 【ス:2.14/0.87】	1.77	0.83

## メキシコにおける日本語学習者の特性

36	教師に自分がどのくらい外国語学習が進んだか教えてほしい。【ス:2.03/0.75】	1.82	0.82
8	教師が学習到達目標を設定しなければならない。【ス:2.33/0.75】【フ:1.70/0.30】	1.88	0.85
11	教師にどのように学習を進めるべきか教えてほしい。【ス:2.38/0.91】【フ:1.55/0.33】	1.83	0.81
43	はっきりとした目的があれば外国語の上達が早くなる。【ス:1.67/0.93】	1.87	0.86
22	自分の外国語学習のどの部分を改善するべきかわかっている。【ス:2.05/0.88】	1.88	0.83
24	教師の言う通り勉強すれば外国語の上達が早くなる。【ス:2.16/0.75】	1.98	0.76
44	日本語を習うことはその文化を研究するためだけでなく、社会、政治、科学技術等を研究するためにも助けにもなる。【フ:1.90/0.35】	2.04	0.89
28	自分の間違いを自分でチェックするとき、一番学習できる。【ス:2.19/1.13】【フ:2.57/0.96】	2.81	0.95

## 6. まとめ

以上、メキシコにおける日本語学習者が上達させたい能力・技能と、彼らの言語学習についての考えを見てきた。調査によると、メキシコ人学習者は日本文化に強い関心を持ち、日本人と友人になって日本語で会話したいと期待しているようである。日本語で話すこと、聞くことを好み、参加型の教室活動を指向する傾向が認められ、これは過去の研究を支持する結果となった。

一方、「初期の間違いを訂正されないと後で直しにくい」という項目には他の2カ国に比べて賛成の割合が低く、「語彙は重要」と言いながらも自らの『上達させたい』希望や知らない単語を辞書で調べるべきだと考える割合は低いなど、学習について楽観的な側面も窺えた。外国語習得に必要とみなしている時間は、比較した2カ国よりも長かった。

また、教師に対しては、サポートや学習環境整備と言った側面的な指導ではなく、直接の教授・チェック・助言・評価を受けたいと思っているようである。自律学習よりも教師依存の傾向が強いと言えるが、視点を変えれば、学習者は教師の指導によって自律的に学習できるようにもなると考えられよう。

冒頭に述べたとおり、メキシコの日本語教育は学習者の量的増大の段階から日本語関連の就業レベルに達するための効果的・効率的なコースに改定する段階にある。今回の調査で明らかになったようにメキシコの学習者の教師への期待は大きく、教師には学習者の希望を把握し、特性を生かして教授活動を行うことが並んで求められる。

謝辞：調査に当たって協力いただいたメキシコの先生と学生の皆さん、メキシコ日本文化センターの職員の方々に感謝申し上げます。

### 調査用紙（原本・スペイン語）

スペイン語あるいは英語で書かれていた質問項目をメキシコでのスペイン語に翻訳し、さらに専門用語について在メキシコ日本語教育の専門家に確認を依頼した。

### Encuesta sobre el Aprendizaje de Lenguas Extranjeras

El presente trabajo es un estudio para conocer la opinión que los estudiantes tienen acerca del aprendizaje de lenguas extranjeras.

Se espera que los resultados de este trabajo sirvan para futuras investigaciones en materia de enseñanza de lenguas extranjeras. Los datos obtenidos en la presente investigación serán empleados, únicamente para fines de análisis, por lo que de antemano, agradecemos tu colaboración

● **Datos Personales :** Marca con X en ☐ o escribe sobre la línea

1. Edad : \_\_\_\_\_ 2. Sexo : ☐ Hombre ☐ Mujer 3. Especialidad : ( \_\_\_\_\_ )

4. Lengua Materna : ☐ Español ☐ Otras ( \_\_\_\_\_ )

5. ¿Cuánto tiempo hace que estudias japonés con ayuda de un profesor(es) en total? : \_\_\_\_ año(s) \_\_\_\_ mes(es)

6. ¿Qué habilidades de la lengua japonesa te gustaría desarrollar más? (Numera según el orden de tus preferencias)

\_\_ Conversación \_\_ Comprensión auditiva \_\_ Pronunciación \_\_ Escritura y redacción \_\_ Lectura

\_\_ Vocabulario

● **Opinión acerca del Aprendizaje de Lenguas Extranjeras :**

A continuación se muestra una serie de opiniones sobre el aprendizaje de lenguas extranjeras.

Lee con atención cada una de ellas y señala tu grado de conformidad según como se indica en los incisos del (1) al (5).

La siguiente encuesta no es un examen, por lo que no existen respuestas correctas o respuestas incorrectas. Contesta de acuerdo a tu opinión.

(1) en total acuerdo (2) de acuerdo (3) ni de acuerdo ni en desacuerdo (4) en desacuerdo (5) en total desacuerdo

1. Es necesario tener un buen profesor para lograr el éxito en el aprendizaje de una lengua extranjera.

2. Algunas lenguas son más fáciles de aprender que otras. El japonés es :

(1) una lengua muy difícil (2) una lengua difícil (3) una lengua de dificultad media (4) una lengua fácil  
(5) una lengua muy fácil

3. Me siento capaz de aprender el japonés con facilidad.

4. Los exámenes periódicos aplicados por el profesor colaboran con los estudiantes para aprender una lengua extranjera.

5. La gente de mi país tiene facilidad para el aprendizaje de lenguas extranjeras.

6. Aprender japonés contribuye a enriquecer la calidad de vida.

7. Es importante hablar japonés con una excelente pronunciación.

8. Los profesores deberían establecer objetivos en el aprendizaje de una lengua extranjera.

9. Para aprender una lengua extranjera es necesario conocer las culturas de la región donde se habla.

10. Un estudiante no debería hablar en japonés hasta que sea capaz de emplearlo correctamente.

11. Me gustaría que el profesor me indique cómo ir avanzando para aprender una lengua extranjera.

12. Las personas que son buenas en ciencias o matemáticas carecen de habilidades para aprender una lengua extranjera.

13. Los estudiantes deberían escuchar la explicación del profesor y responder sólo cuando se les pregunte.

14. Es mejor aprender una lengua extranjera estudiándola en el lugar donde se habla.

15. Es divertido practicar el japonés con los japoneses.

16. La evaluación de los estudiantes debe ser llevada a cabo por un profesor.

17. Un estudiante tiene que consultar sin excepción el significado de una palabra en el diccionario si no sabe lo que ésta significa en japonés.

18. Cuento con habilidades especiales para aprender otras lenguas.

19. Me gusta pedir consejos a los profesores al momento de aprender una lengua extranjera.
20. La parte más importante del aprendizaje de una lengua extranjera es el vocabulario.
21. Es importante repetir y practicar mucho.
22. Me quedan muy claros los puntos que tengo que mejorar en mi aprendizaje de una lengua extranjera.
23. Las personas del país donde vivo consideran importante saber japonés o conocer la cultura japonesa.
24. Si estudio una lengua extranjera siguiendo las recomendaciones del profesor podré aprenderlo más rápidamente.
25. Me siento inquieto(a) y tímido(a) al hablar en japonés con otras personas.
26. Es difícil corregir errores en el nivel avanzado cuando estos no fueron corregidos oportunamente en el nivel básico.
27. Hablar japonés en clase con otros estudiantes no es útil para aprender japonés.
28. Aprendo mejor una lengua extranjera cuando reviso los errores por mi propia cuenta.
29. La parte más importante en el aprendizaje de una lengua extranjera es la gramática.
30. Es más fácil hablar una lengua extranjera que comprender lo que están hablando.
31. Es importante practicar con material adicional, tal como : CDs, cintas de casete, etc.
32. Una clase donde los estudiantes participan activamente es una buena clase.
33. Un profesor debería hacer que los alumnos estudien con entusiasmo.
34. La metodología del aprendizaje de una lengua extranjera es diferente a la de otras áreas académicas.
35. La parte más importante del aprendizaje de una lengua extranjera es aprender a traducir a partir de la lengua materna del estudiante.
36. Me gustaría que el profesor me indique acerca del avance de mi aprendizaje.
37. Si aprendo bien japonés, tendré mejores oportunidades de empleo.
38. Me gustaría tener amigos japoneses.
39. Me gustaría que el profesor me indique mis problemas y dificultades en el aprendizaje de una lengua extranjera.
40. Para conocer una cultura extranjera, basta con obtener suficiente información sobre ella en mi propio idioma, sin tener que aprender la lengua de dicha cultura.
41. Cualquier persona puede aprender una lengua extranjera.
42. Es más fácil leer y escribir en una lengua extranjera que expresarse oralmente en ella.
43. Si tengo un objetivo específico para aprender una lengua extranjera, podré asimilarla de una manera más rápida.
44. Aprender japonés implica no solo estudiar la cultura japonesa, sino también estudiar la sociedad, la política, la ciencia y la tecnología del Japón.
45. Si una persona estudiara japonés una hora diaria, ¿cuánto tiempo crees que necesite para poder hablar bien la lengua?

(1) menos de un año (2) de 1 a 2 años (3) de 3 a 5 años (4) de 5 a 10 años (5) No podrá hablar bien con una hora diaria de estudio
46. El profesor debe motivar a los estudiantes para favorecer el aprendizaje.
47. El profesor debe acondicionar el entorno del estudio y continuar apoyando a los estudiantes.
48. La gente del país donde vivo cree importante hablar japonés.
49. Deseo hablar bien el japonés.
50. Además de aprender japonés, algún día deseo enseñarlo.
51. Aprendo japonés como si éste fuera un pasatiempo divertido.

調査用紙 (日本語訳)

外国語習得についてのアンケート

これは外国語習得に関して学習者が持っているビリーフを知り、将来の教育に役立てるための調査です。データは分析のためだけに使用します。ご協力よろしくお願いします。

●個人データ：Xを□にマークするか、下線部に記入してください。

1. 年齢：( \_\_\_\_\_ 歳 ) 2. 性別：□男性 □女性 3. 専門：( \_\_\_\_\_ )

4. 母語：□スペイン語 □その他 ( \_\_\_\_\_ )

5. 先生と一緒に日本語を勉強して何年経っていますか。： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ か月

6. 日本語のどの能力を上達させたいですか (上達させたい順に番号をつけてください)。

\_\_\_\_\_ 会話 \_\_\_\_\_ 聴解 \_\_\_\_\_ 発音 \_\_\_\_\_ 文字・作文 \_\_\_\_\_ 読解 \_\_\_\_\_ 語彙

●外国語習得についてのビリーフ：

次に、外国語習得についてのビリーフを見てください。一問ずつ読んで、それについて賛成か反対か、以下に示された (1) から (5) で答えてください。試験ではないので、正しい答えというのはありません。あなたの意見をお答えください。

(1) 強く賛成 (2) 賛成 (3) 賛成でも反対でもない (4) 反対 (5) 強く反対

1. 外国語学習に成功するにはいい教師が必要だ。

2. ある言語は他の言語に比べて易しい。日本語は、

(1) とても難しい言語 (2) 難しい言語 (3) 難しさは普通の言語 (4) 簡単な言語  
(5) とても簡単な言語

3. 私は自分が日本語を習得できていると思っている。

4. 教師による定期的な試験は学習者にとって助けになる。

5. 私の国の人は外国語学習が得意である。

6. 日本語の学習は私の生活の質を豊かにする。

7. きれいな発音で話すことが重要だ。

8. 教師が学習到達目標を設定しなければならない。

9. 外国語を習得するためには、その文化を知ることが必要だ。

10. 正しく言えるようになるまでは話すべきではない。

11. 教師にどのように学習を進めるべきか教えてほしい。

12. 数学や科学が得意な人は外国語学習が得意ではない。

13. 学習者は教師の説明を聞き、答えを求められたときだけ答えるべきだ。

14. その国で学習するのが一番いい。

15. 日本人との日本語の練習は楽しい。

16. 学習者の評価は教師からされるべきだ。

17. わからない日本語の単語はかならず辞書で調べるべきだ。

18. 私は外国語学習について特別な才能を持っている。

19. 外国語を学習するとき、教師に助言を求めるのが好きだ。

20. 外国語学習の中で一番重要なのは、語彙の学習である。

21. 繰り返し練習することが重要だ。

22. 自分の外国語学習のどの部分を改善するべきかわかっている。

23. 私の国の人は、日本語や日本文化を知ることが重要だと考えている。

## メキシコにおける日本語学習者の特性

24. 教師の言う通り勉強すれば外国語の上達が早くなる。
25. 他の人と日本語で話すとき、不安を感じて臆病になることがある。
26. 教室で学習者同士で日本語を話しても、学習の役には立たない。
27. 外国語学習の誤りは初期の段階で訂正しなければ、後で訂正するのは難しい。
28. 自分の間違いを自分でチェックするとき、一番学習できる。
29. 外国語学習の中で一番重要なのは、文法の学習である。
30. 外国語を聞いて理解するよりも話すほうが易しい。
31. カセットやCDなどで練習することは重要だ。
32. 学習者が積極的に教室活動に参加するような授業は良い授業だ。
33. 教師は学習者を一生懸命学習させなければならない。
34. 外国語学習の方法は、他の分野の学習とは異なる。
35. 外国語学習の中で一番重要なのは、自分の言語からの翻訳の学習である。
36. 教師に自分がどのくらい外国語学習が進んだか教えてほしい。
37. 日本語ができれば、いい就職のチャンスがある。
38. 私は日本人の友人を作りたい。
39. 教師に自分の外国語学習上の問題点や困難点を教えてほしい。
40. 外国の文化について知りたい場合、外国語を学習しなくても自分の言語で多くのことを知ることができる。
41. すべての人が外国語を習得できる。
42. 外国語を話すより、読んだり書いたりするほうが易しい。
43. はっきりとした目的があれば外国語の上達が早くなる。
44. 日本語を習うことはその文化を研究するためだけでなく、社会、政治、科学技術等を研究するためにも助けになる。
45. もし1日に1時間ずつ日本語を勉強したら、上手に話せるまでにどれくらいかかるか。

(1) 1年以下	(2) 1－2年	(3) 3－5年	(4) 5－10年
(5) 1日に1時間では話せるようにならない。			
46. 教師は学習者がよく勉強するように動機付けるべきだ。
47. 教師は学習者の学習環境を整えるべきだ。そうして学習者のサポートを続けるべきだ。
48. 私の国では、日本語を話せることが重要だと思われる。
49. 私は日本語が上手に話せるようになりたい。
50. 日本語を学ぶだけでなく、いつか教えたいと思う。
51. 私は、趣味を楽しむように日本語を学んでいる。

### 〔注〕

- <sup>(1)</sup> メキシコでの日本語教育は、1. で述べたように基金やJICAによる派遣先機関を中心に、次第に拡充を見せた。基金によるメキシコへの専門家派遣は1972年から2002年まで、首都圏内に立地する教育機関および国際交流基金メキシコ事務所(当時)に実施された。JICAによるボランティア派遣は1989年から2006年まで、継承日本語教育機関への日系社会ボランティアを中心に、一部はシニアボランティアが大学へ派遣された。派遣地域はアメリカ西海岸に近いメキシコ北西部からグアテマラに隣接する南部まで広域に渡る。



<sup>(2)</sup>EPA 発効の効果が最も大きく表れているのは自動車産業で、発効後にはメキシコ国内販売総数（前年）の5%に相当する数量で50%の関税が即時撤廃された（完成車）。マツダ、スズキ、いすゞ、富士重工業、日野自動車など日系自動車メーカー各社が相次いでメキシコ市場に参入している。2012年7月に挙行された日産新工場の定礎式にはメキシコのフェリペ・カルデロン大統領（当時）が自ら出席するなど、その期待の高さのほどが窺える。

<sup>(3)</sup>調査人数の地方別・教育機関種別分布は、メキシコ日本文化センターによる教師数・学習者数・機関数の調査を基にした。

#### 〔参考文献〕

- 阿部新（2009）「スペイン・マドリードの大学における日本語学習者の言語学習ビリーフ」『名古屋外国語大学 外国語学部紀要』第37号、25-62、名古屋外国語大学
- 江原有輝子（1998）「日本人日本語教師とメキシコ人学習者の学習スタイルの違い」『日本語教育』96号、13-24、日本語教育学会
- 国際交流基金（2011）『海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009年 概要』国際交流基金
- 高崎三千代（2004）「日本語教育専門家総合報告書 ビリーフ調査データ」（国際交流基金内部資料・非公開）
- \_\_\_\_\_（2006）「フィリピン首都圏大学における日本語学習者のビリーフ」『国際交流基金日本語教育紀要』第2号、65-80、国際交流基金
- 長尾和子（2003）「メキシコにおける日本語教育活動の概況」『海外における日本語教育活動の概況－現職者研修活動および学校外教育活動を中心にして－』100-104、日本語教育学会
- 府川祐子・佐藤順子（2002）「新学習計画決定までの経緯と現状報告」『国際交流基金メキシコ事務所紀要2号』、25-39、国際交流基金メキシコ事務所
- 若井誠二・岩澤和宏（2004）「ハンガリー人日本語学習者のビリーフス」『日本語国際センター紀要』第14号、123-140、国際交流基金
- Horwitz,E.K.（1987）“Surveying Students Beliefs About Language Learning” *Learner Strategies in Language Learning* ed. by Anita Wenden & Joan Rubin, London, pp.119-129, Prentice Hall International.
- JETRO「メキシコ基本データ」
- <[http://www.jetro.go.jp/world/cs\\_america/mx/basic\\_01/#header](http://www.jetro.go.jp/world/cs_america/mx/basic_01/#header)> 2012年8月1日参照
- 独立行政法人国際港協力機構「JICA ナレッジサイト」
- <[http://gwweb.jica.go.jp/KM/KM\\_Frame.nsf/NaviIndex?OpenNavigator](http://gwweb.jica.go.jp/KM/KM_Frame.nsf/NaviIndex?OpenNavigator)> 2011年5月10日参照